

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年9月14日発行

— 2017.9.4～2017.9.10—第36週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第33週	第34週	第35週	第36週	
水痘		1 0.10	2 0.40	1 0.50			1 0.50	1 0.04	6 0.10	792					
流行性耳下腺炎		9 0.90				2 0.67	2 1.00	2 0.07	15 0.25	467					
百日咳									0 0.00	0					
感染性胃腸炎	24 4.80	14 1.40	23 4.60	11 5.50	10 3.33	7 1.40		112 4.15	201 3.41	10,567	◎	◎	◎	◎	
手足口病	66 13.2	56 5.6	28 5.60	16 8	21 7	91 18.2	26 13	306 11.33	610 10.34	5,059	◎	◎	◎	◎	
伝染性紅斑	3 0.6	1 0.10						4 0.15	8 0.14	159					
突発性発しん		5 0.50	8 1.60		2 0.67	1 0.20		18 0.67	34 0.58	1,202	レ		○	○	
ヘルパンギーナ	6 1.2	28 2.8	9 1.80	3 1.50	20 6.67	5 1.00		14 0.52	85 1.44	787	◎	◎	◎	◎	
インフルエンザ		16 1.07						45 1.02	61 0.64	27,164				○	
咽頭結膜熱	1 0.20			1 0.50				6 0.22	8 0.14	1,363					
流行性角結膜炎	1 1.00							3 0.50	4 0.33	107					
急性出血性結膜炎									0 0.00	0					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14 2.80	35 3.50	1 0.20					26 5.20	20 0.74	96 1.63	5,521	レ	○	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	1					
無菌性髄膜炎									0 0.00	0					
マイコプラズマ肺炎			2 2.00	1 1.00		1 1.00		2 0.40	6 0.50	182					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0					
RSウイルス感染症	17 3.40	28 2.80	13 2.60	7 3.50	7 2.33	5 1.00	7 3.50	103 3.81	187 3.17	1,634	◎	◎	◎	◎	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50					
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		4	2			1	4	◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向						
	川崎病	2													
	不明発しん症							2							

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性3名(うち1名35週)
仙南管内 女児1名※
仙台管内 男性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

大崎管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

石巻管内 男性1名
仙台管内 男性5名、女性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症(E.aerogenes)

仙南管内 女性1名
梅毒
塩釜管内 男性1名
仙台管内 女性1名

※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

[手足口病]

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、
仙台管内で警報継続中

[ヘルパンギーナ]

登米管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第33週採取分 (8.14～8.20)	第34週採取分 (8.21～8.27)	第35週採取分 (8.28～9.3)
インフルエンザウイルスA(H1)pdmC	1件	0件	0件
RSウイルス	6件	8件	7件
ライノウイルス	0件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス(3型)	0件	2件	2件
パラインフルエンザウイルス(4型)	0件	0件	1件

* RSウイルスの分離が多い状態が続いています。

4. 今週のコメント

【インフルエンザ】

県内では、今シーズン初めて学校内での集団感染がありました。県全体での患者報告数は多くありませんが、仙台医療センターウイルスセンターでは、第33週にインフルエンザウイルスが分離されており、今後も動向に注意が必要です。予防接種開始時期前ですので、うがいや手洗いの励行、マスクの着用など、個々で可能な感染予防対策に努めてください。また、インフルエンザの症状が疑われる場合は、医療機関を早めに受診するよう心がけましょう。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

